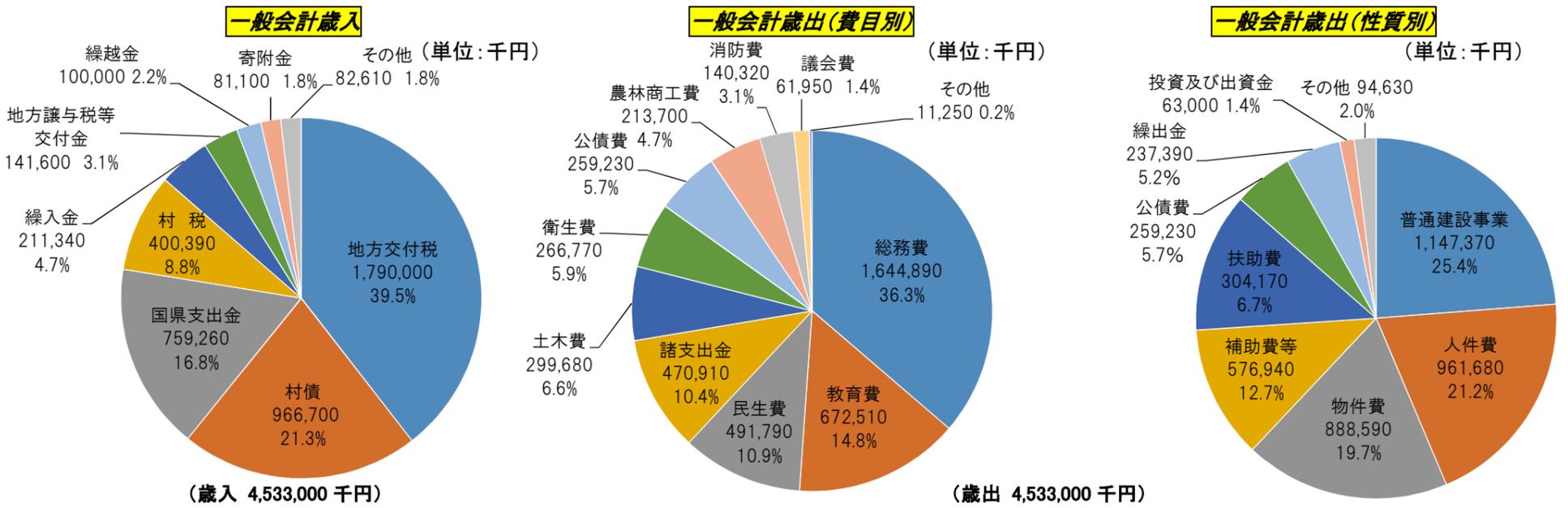


令和3年度当初予算の概要

明日香村の令和3年度一般会計予算は、45億3,300万円で、前年度に比べると総務費で4億6,165万円、39.0%の増(新庁舎建設事業に伴う実施設計・工事費4億1,659万円等)、衛生費で1億1,017万円、29.2%の減(ごみ焼却炉解体事業1億4,000万円等)、土木費で5,575万円、15.7%の減(村道地ノ窪線道路改良事業4,450万円等)となっており、一般会計全体で3億3,300万円、7.9%の増となります。一般会計と7特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の合計10会計を合算すると、70億18万円となり、前年度と比べると3億2,292万円、4.8%の増となっています。



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰出金等

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

子育て・教育

…黄色は新規事業

区分	内 容	
子ども子育て支援事業の推進【住民課・健康づくり課・教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターにおいて【H28～】、保育支援を継続するとともに、ファミサポ明日香での一時預かり事業【H30～】の利用や啓発に取り組む。また、あすかっこアプリ【H30～】を活用した子育てに関する様々な情報の配信や感染予防対策を講じた子育て交流会を実施。(児童福祉支援事業106,170千円) ・子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、不妊治療費助成【H28～】、多子世帯の給食費負担軽減【H28～】、幼稚園や保育園の保育料等軽減【H28～】及び無償化【R1～】、出産祝金、小・中学校への新入学児童・生徒へ祝金の支給【H29～】等を引き続き実施。(母子保健事業7,980千円、出産祝金給付事業1,800千円、入学祝金給付事業3,000千円) ・放課後児童健全育成事業は空き教室を利用して実施し、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し適切な生活や遊びの場を提供する。【H25～】(放課後児童健全育成事業13,930千円) 	132,880千円
幼小中学校経営事業【教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中一貫教育の特色を活かした教育として、各校教員の相互乗入れ授業を行い、学級担任制から教科担任制への円滑な移行や英語教育、郷土学習の充実を図る。また、臨床心理士や特別支援員の配置により、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行い、少人数学級編成によるきめ細かな学習指導を行い、学力向上と自立した感性豊かな子どもの育成を目指す。 	53,040千円

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

健康・福祉

区分	内 容	
新型コロナ予防接種事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスのワクチン予防接種【R2～】について、国保診療所や村内医療機関、県立医科大学等と連携し、速やかに接種が可能となる接種体制の整備やワクチン接種の情報啓発に努め、村民の生命と健康を損なうリスクの軽減を図る。 	31,640千円
健康づくり事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24～】や健康ステーション事業【H29～】、糖尿病性腎症予防事業【H30～】の継続やがん患者の医療用補装具費の一部助成【R3～】を行うと共に健診未受診者への受診勧奨を強化し、健診受診率の向上に努め、生活習慣の改善、予防対策を進めることで医療費の適正化を目指す。 	29,080千円
健康福祉センター機能再編計画策定事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による機能改善や新庁舎建設にあたっての事務所移転、施設のあり方の検討など今後、中長期的なセンター機能の再編に向けて、住民へのアンケート調査や施設再編の方向性、基本方針などの計画を策定。 	4,000千円
地域包括ケア体制構築事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターで、社会福祉協議会や関係団体と連携し、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みを充実させるため、ふれあいサロン活動【H27～】の場等に専門職種の積極的なフレイル予防体操【H30～】等の導入実施を行いながら、担い手であるボランティアの支援と育成に努め、社会参加の促進を図る。 	62,530千円
医療費助成事業【住民課】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉医療該当者の健康の保持と福祉の増進を図るため医療費の一部負担に対する助成を実施。 	33,900千円

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

安全・安心・生活環境・定住

区分	内 容	
防災対策事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や局地的豪雨などの自然災害に備え、備蓄品等の充実(食糧品及び衛生用品等の購入)を図る。 	3,500千円
防災組織育成事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の防災力の強化を図るため、各大字の自主防災組織において、自助・共助に対する意識の向上を目的とし、講習会を実施(組織率:R3年2月現在99.1%)。また、防災訓練(高市地区)を実施し、自助・共助の重要性や避難所運営に関する意識の向上を図る。 	1,130千円
地域防犯推進事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯LED化に対する補助【H30～】並びに防犯灯の修繕を実施。 	3,300千円

区分	内容	
定住促進事業 【総合政策課】	・村内の空き家を活用し、定住を促進するため、空き家バンク制度を推進。【H21～】 ・子育て世帯の定住を促進するため、子育て世帯の新築等に関する費用の一部を助成。【H28～】 ・市街化区域(阪合地区)において、住宅地形成を促進するための基礎調査を実施。【R2～】	8,240千円 10,000千円 7,000千円
雇用環境創出事業 【総合政策課】	安定的な雇用環境を創出するため、過疎地域の制度を活用し、人材派遣を行う特定地域づくり事業協同組合の設立や活動に対して支援を実施。【R3～】	3,240千円
公共交通運行事業 【総合政策課】	・観光客の利便性向上及び村民の生活支援を目的に赤かめ周遊バス【H15～】及び飛鳥キトラ線バス【H28～】の運行を実施。 ・高齢者等の外出支援を行うため、金かめ乗合交通【H27～】及びコミュニティタクシー【H18～】の運行や福祉運賃、桜井飛鳥線、八木下市線の路線維持などを継続実施。 ・バス停に四阿を設置(檜前いおり野) ・今後の公共交通見直しのための検討業務を実施【R2～】。	30,250千円 11,100千円 5,300千円 3,000千円
新庁舎建設推進事業 【総合政策課】	・新庁舎建設に伴う実施設計を令和2年度に引き続き実施し、開発等の許認可の取得を行う。その後、造成工事に着手する。併せて、新庁舎に必要な備品の取得等に向けて準備作業を実施する。【H28～R4】	775,840千円
クリーンセンター管理運営事業 【住民課】	・飛鳥地域における広域行政の連携を図り、燃えるごみの焼却処理を橿原市に委託し、生活環境の保全と安定したごみ処理を行う。	74,740千円
下水道施設整備事業 【地域づくり課】	・老朽化する下水道施設について計画的かつ効率的に点検・調査・修繕等を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、長寿命化を図る。	21,800千円
水道老朽管等更新事業 【地域づくり課】	・安全で安定した給水を行うため、老朽化した水道管及び加圧ポンプの通報装置の更新等を行う。 老朽管の更新(岡、小原) L=75m、 加圧ポンプの通報装置更新(上居、阪田、稲淵)	62,000千円
道路維持事業 橋梁長寿命化事業 【地域づくり課】	・安全で円滑な走行環境を確保するため、経年劣化した舗装等の修繕を強化するとともに、橋梁を定期的に点検し、修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図る。 道路維持事業 御園他5カ大字 橋梁補修工事 2橋 定期点検 26橋 改修設計 3橋	76,000千円

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

農業・林業・商工・観光・雇用

区分	内容	
企業誘致促進事業 【総合政策課】	・村の歴史や風土に共感する企業として、宿泊施設や工房等を立地させるために、事業者の建設計画の進捗にあわせ、引き続き地区計画の作成や開発等に関わる諸条件の調整を行う。【H27～】	4,480千円
担い手育成支援事業 【観光農林推進課】	・農業従事者の高齢化や担い手が減少する中で、持続的に営農活動が行えるよう新規就農者や後継者等が行う農業生産活動を支援するため、新規就農者の就農後の定着を図るための資金を交付。【H22～】 ・集落による耕作放棄地解消活動に対して支援。	5,430千円
農村魅力づくり事業 【観光農林推進課】	・耕作放棄地を解消し、農村景観を創出することにより来訪者へのもてなしの演出を行う。 ・農業体験を実施することにより、飛鳥ファンに新たな村の魅力を広く発信する。	10,000千円
農商工活性化支援事業 【観光農林推進課】	・加工用野菜・持続可能な作物の栽培実証を行う。また、営農アドバイザーを確保することで、就農希望者を雇用しながら、知識や技術の習得、各集落における営農上のルールの把握など理解した担い手を育成する。 ・加工品について、マーケットインの視点から付加価値を見直し、ブランディング強化に取り組み販売力を強化する。	18,620千円
有害獣対策事業 【観光農林推進課】	・有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に取り組みむとともに、狩猟免許の取得・更新助成を行い人材の確保を図る。【H23～】 ・獣害防止柵の弱点を診断し、集落単位での自己防衛の認識を高めるため支援対策を強化する。【R2～】	12,760千円
明日香村にふさわしい 景観創出事業 【観光農林推進課】	・牽牛子塚古墳の外周部において、獣害防護柵の補強、アサガオの植付を行うことで、観光来訪者の受入整備を図る。 ・景観・空間を利用した里山ビジネスの構築を図る。	3,000千円
観光振興事業 【観光農林推進課】	・広域連携等による誘客促進の取り組みを展開するとともに、飛鳥ハーフマラソンを契機とした新たな誘客促進に向けた閑散期キャンペーンを開催し、観光産業の活性化を図る。 ・日本遺産等を活用した新たな歴史文化観光ツアーを造成。	5,110千円
観光基盤整備事業 【観光農林推進課】	・飛鳥観光協会等と連携し、地域資源を活用した着地型旅行商品の造成及び体験・企業向け研修プログラムの造成を図るとともに、牽牛子塚古墳整備に伴う周遊サインの整備、及び、魅力ある情報発信等に取り組み、来訪者の滞在時間を延伸し、観光消費の増加を図る。	7,360千円
観光活性化事業 【観光農林推進課】	・歴史文化や自然、農産物等の魅力を来訪者に伝えるための光の回廊や奉納祭等のイベントについて、秋の期間キャンペーン「古都飛鳥文化祭」として開催し、来訪客増加と地域内外との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。	10,000千円
飛鳥ハーフマラソン事業 【教育課】	・2022年3月開催に向け、記念すべき第1回大会が「あすから未来」へ繋がる魅了ある大会になるよう村民、村内観光事業者や商工事業者と一緒に安心で安全な大会開催を目指す。また、新たな明日香ファンの獲得や地域活性化になるよう、大会を盛り上げる。【R1～】(実行委員会予算 68,800千円)	18,000千円

世界遺産登録による歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

区分	内容	
世界遺産登録推進事業 【総合政策課・文化財課】	・提出した推薦書素案について、文化審議会の意見を受け専門的見地からの助言を得ながら、修正作業を実施する。併せて、構成資産の解説板設置や気運醸成のため講演会等を実施する。【H18～】	3,840千円
村民協働事業 【総合政策課】	・村民との直接対話で、新しい発想や魅力を創造する村づくりの推進を図るため、車座集会「明日香座」を開催。【H24～】 ・集落及び観光周遊ルート等の環境美化を定期的に実施する大字管理組合に対し、活動費助成を行う。【H23～】 ・歴史的風土の保存のために大字管理組合が行う事業に対する支援を行う。【S55～】【特別会計 29,930千円】	43,230千円
社会連携事業 【総合政策課】	・関西大学や天理大学などとの大学連携【H17～】 ボランティア活動、首都圏講演会の開催、出前講座、スポーツ交流、生涯教育活動、遺跡のCG復元 など	5,130千円
(仮称)飛鳥劇場設置検討業務 【総合政策課】	・飛躍的な地域活性化を図る目的で、演劇や演舞などを閑散期や夜間も含めて定期的に開催し、村の魅力について臨場感を持って伝えるための民間資金活用型かつ民間運営型の(仮称)飛鳥劇場設置に向けた検討を実施。【R3～】	3,000千円
多様な団体との連携事業 【観光農林推進課】	・オーナー制度や彼岸花祭り、景観ボランティア等との連携による景観を軸とした取り組みを継続するとともに、民間によるクラウドファンディングの活用促進や、アフターコロナ期におけるインバウンド誘客に向けた取り組みを実施。	11,050千円
芸術文化事業 【教育課】	・村内在住の美術作家を中心とした展覧会の開催や村外在住の芸術家が明日香に滞在し、明日香村の魅力を作品を通して発信することで誘客を図る。公民館を中心に活動する各種団体・サークルの発表の機会の提供、次代を担う子どもたちによる芸能大会など、文化の香る村づくりと来訪者も含めた多世代にわたる交流を促進。	3,120千円
飛鳥宮跡保存活用事業 【文化財課】	・飛鳥の中核遺跡である飛鳥宮跡の保存・活用に向け、県と連携し、史跡の追加指定と公有地化を促進すると共に、整備・活用の手法を検討。【H25～】	280千円
牽牛子塚古墳等整備事業 【文化財課】	・牽牛子塚古墳は、斉明陵とされる八角墳で、隣接する越塚御門古墳と一体的な復元整備を行うことで飛鳥時代の天皇陵を体感できる施設として保存・活用を行う。 牽牛子塚古墳復元【H29～R3】	136,780千円
古代飛鳥再現事業 【文化財課】	・飛鳥の歴史文化資源の「見える化」を図るため古代飛鳥を復元する手法の検証を行い、飛鳥時代を体感できるようコンテンツ等の開発を行う。【越塚御門古墳解説コンテンツ制作・伎楽復元・世界遺産解説機能強化】	25,850千円